

## NetAcademy NEXT の活用について

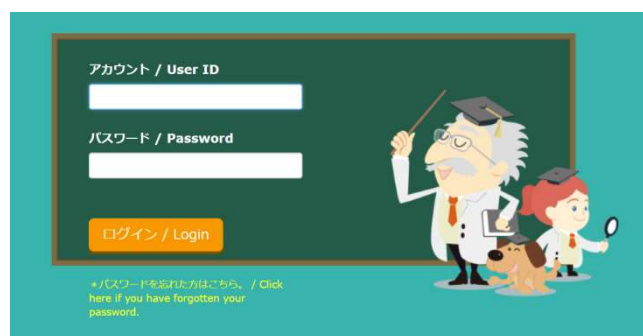
平成 30 年度の全学共通教育科目「英語 I（1 年 前期）」「英語Ⅳ（2 年 後期）」では、TOEIC の受験が必須となっています。また TOEIC の得点が一定の基準に達すると、英語 I ～Ⅳの成績に 10 点が加算されます。NetAcademy NEXT を活用し、得点アップをめざしましょう。  
（全学共通教育科目の「英語 I ～Ⅳ」は、国際文化学科を除く全学科 1，2 年次の必修科目です。）

### 【準備】

インターネットに接続された端末（PC，タブレット，スマートフォン）から、次の URL にアクセスしましょう。（右の QR コードも利用できます。）

<https://alcnanext.jp/anetn/Student/stlogin/index/puh>

（お気に入りに登録しておきましょう）



※初期設定では、アカウント、パスワードとも、皆さんの「学内アカウント」と同一の文字列となっています。初回ログイン時は、上下 2 つの欄に同じ文字列を入力してください。

※ログイン後、ホーム画面の右上に表示される**あなたの名前**をクリックすると、パスワード変更のできる設定ページが表示されます。（通常利用している「学内パスワード」に変更しておくくと便利です。）

### 【目標設定と計画】

NetAcademy NEXT には、TOEIC の目標得点に応じた練習プログラムが用意されています。目標得点を突破するための推奨課題（Stage）を次のように設定しました。標準所要時間を参考にして計画的に実行し、早期の目標達成を目指しましょう。

### 500 点突破コース

| Unit 1 ～ Unit 28   | 標準所要時間 | 目標得点と推奨課題 |         |
|--------------------|--------|-----------|---------|
|                    |        | 400～450   | 450～500 |
| Stage 1. 「狙い目」を知る  | 3.5 時間 | ●         |         |
| Stage 2. テスト対策ドリル  | 6 時間   | ●         | ●       |
| Stage 3. 英語力トレーニング | 6.5 時間 |           | ●       |

## 600 点突破コース

| Unit 1 ～ Unit 37   | 標準所要時間 | 目標得点と推奨課題 |         |
|--------------------|--------|-----------|---------|
|                    |        | 500～550   | 550～600 |
| Stage 1. 「狙い目」を知る  | 4.5 時間 | ●         |         |
| Stage 2. テスト対策ドリル  | 8 時間   | ●         | ●       |
| Stage 3. 英語力トレーニング | 8.5 時間 |           | ●       |

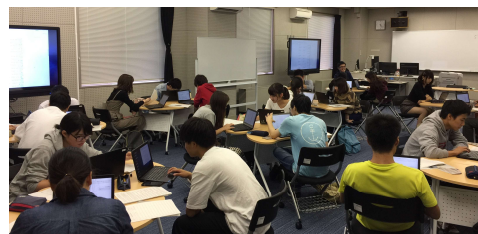
## 730 点突破コース

| Unit 1 ～ Unit 39   | 標準所要時間 | 目標得点と推奨課題 |         |
|--------------------|--------|-----------|---------|
|                    |        | 600～660   | 660～730 |
| Stage 1. 「狙い目」を知る  | 5 時間   | ●         |         |
| Stage 2. テスト対策ドリル  | 9 時間   | ●         | ●       |
| Stage 3. 英語力トレーニング | 8 時間   |           | ●       |

### 【心がけておきたいこと】

◆英語の力を身に付けるには、ある程度の長い時間、学び続けることが大切です。e ラーニングは「いつでもできる」と思っていると、結局、「いつまでもやらない」状態が続いてしまいます。毎日短時間でも時間を確保し、着実に進めていきましょう。

◆学内では、CALL 教室、情報演習室、図書館、ラーニングコモンズに設置された PC やタブレットが利用できます。スマートフォンでアクセスする際は、Wifi 接続のできるエリアを活用しましょう。(写真は庄原の CALL 教室)



ちょっと息抜き.. 授業やeラーニングだけが英語を学ぶ場ではありません。本学には様々な環境が用意されています。たとえば図書館。各キャンパスの図書館には、易しい英語で書かれた読み物（Graded Readers）や、映画の DVD など、楽しみながら学べる教材がそろっています。空き時間にぜひ手に取ってみましょう。

◆英語に関する質問や相談は、各キャンパスの英語担当教員まで遠慮なく。オフィスアワーをコースカタログで確認しましょう。課外で開催される「TOEIC スコアアップ講座」にも積極的に参加しましょう。